

2022/05/09（月）

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 7章 12節（新約聖書11頁）

だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。

してもらいたい

「してもらいたい」と聞いて皆さんは何を思いますか。自分の願いごとでしょうか。好きなだけケーキやチョコレートを食べたい、勉強も仕事もない世界へ行きたい、一日中何も考えないで、何もしないで過ごしたいことでしょうか。

私がいつも思い浮かぶのは『ドラえもん』に登場する“どこでもドア”です。のび太はいつも困ったことがあると、ドラえもんの便利道具をおねだりします。私にもドラえもんがいれば、世界中好きなところへ連れてってほしいです。

でも、のび太はいつも後になって調子に乗り過ぎて失敗します。そして自分の願い通りにするのが必ずしも良いことではないと反省します。すると弱虫で臆病だったのび太が他人（ひと）の弱さや辛さを自分のことのように感じ、勇敢と立ち向かっていきます。

「してもらいたい」とは必ずしも問題が解決することではなく、自分の弱さや辛さに気づいてほしいということです。だから「あなたがたも人にしなさい」とはあなたも他人（ひと）の思いに気づいて、共に歩みなさいとことです。

（しばらく黙祷しましょう）

祈りましょう

希望を失いつつある人、友のいない人の友となられた主よ、あなたは天地を創造し秩序と平和を与えてくださいました。どうか感染症と向き合う人々、ウクライナ避難民の方々を覚えて祈り、学び続ける英和生を祝福してください。特に今週、英和生はスタディツアーで長崎、福岡、奈良、京都、静岡県内の歴史、文化、自然、そして異文化にふれて学びます。あなたのみ心に適わず歩んだ悲しい歴史から、先人の残した伝統と文化から学び、また私たちに自然を慈しむ心を灯し、そして言語や文化の違いを越えて交わる楽しさや喜びへと導いてください。どうかよき旅路の備え、安全と健康を守り、その目的へ向かって導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン